

## 第1回 NARO 食と健康の国際シンポジウム「食」の研究を世界の市場へ

### NARO 1<sup>st</sup> International Symposium on Food and Health “Food Science to Market, from Local to Global”

#### <開催趣旨>

世界の農業・食品産業を取り巻く状況は大きく変化しています。新型コロナウイルスのパンデミックによりフードチェーンの脆弱さが露呈し、食料安全保障の重要性が再認識されました。気候変動による農畜産物生産の不安定化が顕在化する中で、世界の人口増加にともなう食料需要の拡大も予測されており、持続的な食料生産と供給の実現は世界全体の課題です。

2021年9月には、2030年までのSDGs達成に必要な食料システムの変革にむけて「国連食料システムサミット」が開催され、「質（栄養）・量（供給）の両面にわたる食料安全保障」を始めとする5テーマが重要課題として取り上げられました。日本政府は栄養不良の解決に向けた国際的取組を推進するために12月に「東京栄養サミット」を開催しました。

栄養と健康に着目したグローバルな食品の価値向上とマーケット拡大は、世界中の人々の栄養改善と健康長寿の実現を通してSDGs達成に貢献する取組であるとともに、食品関連産業におけるビジネスチャンスでもあります。

農研機構では、2022年3月にグローバルな視野で研究を進める食品関連企業や大学、研究機関に参加を呼びかけて、「食と健康」をテーマにした国際シンポジウムをオンラインで開催します。アジア・アメリカ・ヨーロッパなどの地域に根ざした食と健康に関する科学的エビデンスをベースに、食品の価値を高めて世界市場へ展開する食品産業創出と国際貢献のあり方について議論を行います。

このシンポジウムは、基調講演セッションと3つの分野別セッションで構成されます。各セッションでは、参加企業にご協力頂き、特徴ある取組の紹介や研究開発ニーズのマッチングを目的とした「ピッチ」も企画します。

それぞれのセッションのねらいは以下の通りです。

基調講演：「“食と健康”の国際動向」「食品テクノロジーの国際展開」「基礎から実用化まで一貫した研究開発による機能性食品の社会実装」「世界的な穀物メジャーの事業戦略」についての話題提供により、シンポジウムのコンセプト「食の研究を世界の市場へ」に関する成功事例を共有します。

セッションⅠ「栄養・健康」：ヘルスプロモーションに注目した食と健康の国際的なトレンドのなかで、機能性表示制度や栄養のメカニズム研究など、栄養管理のイノベーションを通して「食による健康長寿」を目指す最先端の研究を紹介します。

セッションⅡ「豊かな食と健康を支える作物開発」：人口増加および気候変動で不確実性が増す21世紀の農業生産に対し、ゲノム情報、センシング・ICTを駆使した作物開発によってどのような最適解を導くことができるか？最先端技術を紹介して、今何ができるのかを議論します。

セッションⅢ「食品科学から世界規模のビジネスへ」：アグリ・フードテックにおける研究開発、標準化・規格基準化、おいしさの追求などのブランド化戦略について、オープンイノベーションの視点で議論します。

後援：ワーヘニンゲン大学研究センター(WUR)、フランス国立農業研究所(INRAE)、オランダ王国大使館、在日フランス大使館科学技術部、Foodvalley NL、Vitagora

事前登録の上、ぜひご参加ください。参加費：無料。定員：1000名。参加申込み締切り：2022年2月22日。

プログラム

※ 以下の内容（講演者）は変更される場合があります。

1 日目			
開会			
蘭仏 時間	米 国 中 部時間	日本時 間	
6:00- 6:20	23:00- 23:20	14:00- 14:20	<b>開催挨拶</b> ・国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）理事長 久間和生 ・ワーヘニンゲン大学研究センター フレスコ総長 ・フランス国立農業研究所 モーガン理事長 ・農林水産省技術会議事務局 青山豊久局長
各 5 分			
基調講演			
6:20- 6:40	23:20- 23:40	14:20- 14:40	1. <u>FAO ローマ本部</u> Dr. Ismahane Elouafi チーフサイエンティスト（調整中） 「食と健康」のグローバルトレンドと国際イニシアチブ
6:40- 7:00	23:40- 0:00	14:40- 15:00	2. <u>味の素（日）</u> 白神浩 執行役専務 Chief Innovation Officer 研究開発統括 「食と健康の課題解決」に向けた味の素グループの挑戦
6:00- 7:20	23:00- 0:20	15:00- 15:20	3. <u>NARO（日）</u> 山本万里 食品研究部門 エグゼクティブリサーチャー 基礎から実用化まで切れ目ない研究開発による機能性食品の開発と将来の健康食品研究
7:20- 7:40	0:20- 0:40	15:20- 15:40	4. <u>Foundation for Food Agriculture Research（米）</u> Dr. Chris Mallett 取締役 ／元 Cargill 副社長（R&D 担当） 食と健康：科学だけでは不十分！
休憩 10 分			
講演			
<b>セッション I 栄養・健康</b>			
セッションリーダー：亀山真由美（農研機構 食品研究部門 所長）			
<b>【講演】</b>			
7:50- 8:05	0:50- 1:05	15:50- 16:05	1. <u>NARO（日）</u> 小堀真珠子（食品研究部門 食品機能研究領域長） 健康長寿を目指す日本のヘルスプロモーションと研究開発 —日本食と構成食材（農産物）の健康機能性、 おいしくて健康に良い食の開発・提案に向けた研究—
8:05- 8:20	1:05- 1:20	16:05- 16:20	2. <u>WUR（蘭）</u> ir. MJ (Martine) van der Mast & dr. NJW (Nicole) de Wit 一人ひとりに合った栄養と行動への影響
8:20- 8:35	1:20- 1:35	16:20- 16:35	3. <u>花王（日）</u> 高瀬秀人（生物科学研究所 主席研究員） 健康的な日本人の食習慣を活かした内臓脂肪蓄積予防のための「スマート和食®」の開発と実践
<b>【討論】</b>			
8:35- 8:50	1:35- 1:50	16:35- 16:50	消費者個人が栄養バランスを意識し健康を高める行動をとるためには？

8:50- 9:10	1:50- 2:10	16:50- 17:10	<p>【Pitch】</p> <p>1. <u>Dole Asia Holdings Pte Ltd. (シンガポール)</u> : フルーツの機能性食品としての国際展開</p> <p>2. <u>ヤクルト本社 (日)</u> : 乳酸菌飲料による健康習慣の国際展開</p> <p>3. <u>ネスレ日本 (日)</u> : 栄養補助食品事業のネスレヘルスサイエンス</p> <p>4. <u>キユーピー (日)</u> : 食からの健康長寿の実現に向けた「卵と脳機能に関する研究」</p>
各5分			
<b>2日目</b>			
<b>セッション II 豊かな食と健康を支える作物開発</b>			
セッションリーダー: 田口和憲 (農研機構 中日本農業研究センター温暖地野菜研究領域 栽培管理グループ 上級研究員)			
【講演】			
6:00- 6:10	23:00- 23:10	14:00- 14:10	1. <u>NARO (日)</u> 今井亮三 (生物機能利用研究部門 作物ゲノム編集研究領域 ゲノム編集作物開発グループ長) iPB 法は作物ゲノム編集を変える
6:10 -6:25	23:10- 23:25	14:10 -14:25	2. <u>INRAE (日)</u> Dr. Christophe Salou リサーチ・ディレクター HORIZON EUROPE プロジェクト (INRAE 代表) ICT 植物フェノタイピング・目標形質に対応した新しい育種技術
6:25 -6:40	23:25- 23:40	14:25 -14:40	3. <u>ウィスコンシン大学 (米)</u> Dr. Shawn Kaeppler ウィスコンシン作物イノベーションセンター(WCIC) 所長 様々な環境に適応したトウモロコシの品種開発と利用の将来
6:40 -6:55	23:40- 23:55	14:00 -14:55	【討論】 育種技術のイノベーションで食糧問題を乗り切る開発戦略は? — 話題提供者のポジションからの見解 —
6:55 -7:10	23:55- 0:10	14:55 -15:10	【Pitch】
各5分			
1. <u>Bayer Crop Science (独)</u> : アグリビジネス企業が挑戦する持続可能な農業			
2. <u>DAIZ (日)</u> : 高オレイン酸ダイズで自在に植物肉をデザイン ほか調整中			
休憩 10分			
<b>セッション III 科学からビジネスへー食品科学から世界規模のビジネスへー</b>			
セッションリーダー: 後藤一寿 (農研機構 NARO 開発戦略センター・オランダ研究拠点駐在員)			
【講演】			
7:20 -7:35	0:20 -0:35	15:20 -15:35	1. <u>FUJI EUROPE AFRICA B.V. (蘭)</u> Dr. Liz Kamei グローバルイノベーションセンター・ヨーロッパ所長 食品のグローバルブランド化と企業戦略
7:35 -7:50	0:35 -0:50	15:35 -15:50	2. <u>NARO</u> 根角厚司 (果樹茶業研究所 枕崎調整役) 品質の高い日本茶を世界中に届けるための新品種開発
7:50 -8:20	0:50 -1:20	15:50 -16:20	3. 欧州の食品産業クラスター ○ <u>Vitagora(仏)</u> Bérengère Moindrot 国際開発マネージャー フランスを中心とする農業・食品イノベーションクラスターとしての Food-Tech 支援 ○ <u>FoodvalleyNL(蘭)</u> Dr. Jeroen Wouters 国際連携部長 オランダを中心とする食のイノベーション推進とスタートアップ支援

8:20 -8:35	1:20 -1:35	16:20 -16:35	4. <u>GreatPoint Ventures (米)</u> Mr. Ray Lane 専務取締役 農業・食品産業向けベンチャーキャピタル投資
8:35 -8:50	1:35 -1:50	16:35 -16:50	<b>【討論】</b> フードテックにおけるオープンイノベーションの促進
8:50 -9:05	1:50 -2:05	16:50 -17:05	<b>【Pitch】</b> 1. <u>HighQuest Partners (米)</u> : アグリテック・フードテックの投資動向 ほか調整中 各5分
<b>閉会</b>			
9:10 -9:15	2:10- 2:15	17:10 -17:15	閉会挨拶（総括） 勝田眞澄（農研機構 理事）
閉会 closing			